

---

# 春の姿

発光不可

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

春の姿

### 【Nコード】

N9052K

### 【作者名】

発光不可

### 【あらすじ】

春の雰囲気を出そうと思いました。  
ストーリーはありません。

女の人がいた

桜の下に女の人がいた。

河の土手沿いには僕の道がある。

車はもちろん通れない。

朝とか夕方には自転車が多くなるけど、僕の道は昼間だけ。

僕の道には桜がいる。

大きくもなく小さくもない桜は春にしか姿を現さない。

夏でも、秋でも、冬でも、桜に気付いてあげられないのは僕が悪い。

僕の道に桜が出てきた。

それは数日前のこと。

今はもう黄緑色の点々が出てきている。

横風に煽られて花びらを飛ばしている。

けど桜は花びらがなくなるらない。

僕の道の桜を見ている女の人がいた。

彼女の人は歩きながら桜を見ていた。

僕は僕の道を歩きながら桜と女の人を見ていた。

この人も桜のようにたまにしか姿を現さないのかな

いつもどこかにいるのに、おかしいね。

もしかしたら近くにいるのかもしれないのにね。

ひざ丈のスカートを少し風に揺らし、  
少し長めの髪を揺らし、  
その女の人は僕に背を向けていた。

春なのに、世界のみんが淡い色になっているのに、  
お前の幹の色は暗いんだね。  
そう、桜の木に聞いても何も答えなかった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9052k/>

---

春の姿

2011年10月6日23時37分発行